



会長挨拶

和田 忠彦



3・11大震災から2年の歳月が流れました。被災地の復旧・復興に思いを馳せながら、私たち連盟会員は、テニスを通じて互いに元気を分かち合い今日の日を迎えることが出来ました。

昨年を顧みますと、前半は天候に恵まれず、連盟行事は4大会が2回中止、Weekday は時間短縮開催が3回程あり会計的には少々厳しい年度を迎えました。しかし、社会面では、ロンドンオリンピックで日本選手の活躍や、京大の山中真弥教授のiPS細胞開発に対するノーベル医学生理学受賞の快挙、加えて、大震災で開催が危ぶまれた「第25回ねりんピック宮城・仙台」が、関係者の並々ならぬ努力で無事開催出来ましたことは、多くの国民はもとより被災地の私達にとって、勇気と元気・頑張る力を与えて戴く上で記念すべき1年でもありました。

さて、今や超高齢化社会と言われる中で、当連盟は、テニスを生涯スポーツとして位置付け、「健康増進と相互の友好を図る」ことを目的に、高齢者のテニス競技団体に相応しい行事の持ち方や競技の在り方について、会員はもとより多くのシニアテニス愛好家の声に耳を傾け、そのニーズに応えるべく創造的に工夫を重ね取り組んで参りました。昨年度は、わが国の65歳以上の人口が、23%を超えたと聞いております。高齢者が、それぞれのニーズに応じて自発的に自覚してスポーツ(テニス)に取り組むことは、国や地方自治体の高齢者福祉施策の貢献に資するものでもあります。当連盟の取り組みは細やかではありますが、関係者の暖かいご理解とご支援を賜りたく切に願うものであります。

最後に、私たちは「死ぬまで元気な」お爺ちゃん・お婆ちゃんとして、チャレンジ精神を失うことなく、年齢に相応しいテニスプレーの更なるレベルアップも目指したいものです。本年は巳年、ヘビは脱皮して成長します。脱皮は変革の象徴でもあります。会員の皆様の一段の奮起とお力添えをご期待申し上げて、新年度に当たってのご挨拶と致します。

目次

会長挨拶・・・・・・・・・・・・・和田忠彦・・・1	県代表選手から・・・・・・・・・・松山眞水・・・16
競技部活動報告：技量別ダブルス大会・・・・・・2	最高齢者表彰・県代表選手・・・・・庄司勝子・・・18
連盟祭り・・・・・・・・・・・・・・3	回顧録・あー悩ましきテニス・・・・三浦邦夫・・・19
Weekday 交歓会・・・・・・・・・・4	入・退会手続き・年会費納入・・・・事務局・・・20
大会優勝者の一言・・・・・・・・・・・・・・5	諸行事予定と参加申込み方法・・・・・・・・・・・・21
対外部活動報告：県南ブロック交流会・・・・・・7	平成25年度年間行事予定・・・・・・・・・・・・22
県北ブロック交流会・・・・・・8	大会開催要項・・・・・・・・・・・・・・競技部・・・23
対いわきVTC親善交流会・・・・・・9	平成24年度行事实績・定期総会報告・・・・・・・・25
東北マスターズ岩手大会・・・・・・・・10	会計報告・・・・・・・・・・・・・・会計部・・・26
ねりんピック宮城・仙台2012テニス交流大会	連盟規約・・・・・・・・・・・・・・・・・27
大会全般レフェリー・・・・青木興一・・・11	平成25年度連盟組織体制・・・・・・・・・・・・28
競技役員から・・・・・・・・・・平井正光・・・14	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・広報部・・・28

平成24年度 活動報告

競技部 小田島 政勝

〔 年齢別ダブルス大会 〕:中止

期 日 平成24年5月3日(土)

会 場 七北田公園コート 8面

申込者

	今年度	昨年度
男子	28名	36名
女子	43名	30名
合計	71名	66名

	男子	女子
110+	0組	0組
120+	0組	13組
130+	8組	5組
140+	5組	0組
シニア	2名	7名

○昨年度を上回る申し込みがありましたが、台風並みの強風と大雨のため大会を中止としました。

〔 混合ダブルス大会 〕:中止

期 日 平成24年7月7日(土)

会 場 七北田公園コート 8面

申込者

	今年度	昨年度
Aクラス	13組	11組
Bクラス	22組	15組
Cクラス	5組	7組
合計	40組	33組

○年齢別ダブルス大会と同様の大荒れの天候となり、残念ながら2大会連続の中止となりました。

〔 技量別ダブルス大会 〕

期 日 平成24年9月1日(土) 9:00~17:00

会 場 七北田公園コート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	36名	32名
女子	38名	43名
合計	74名	75名

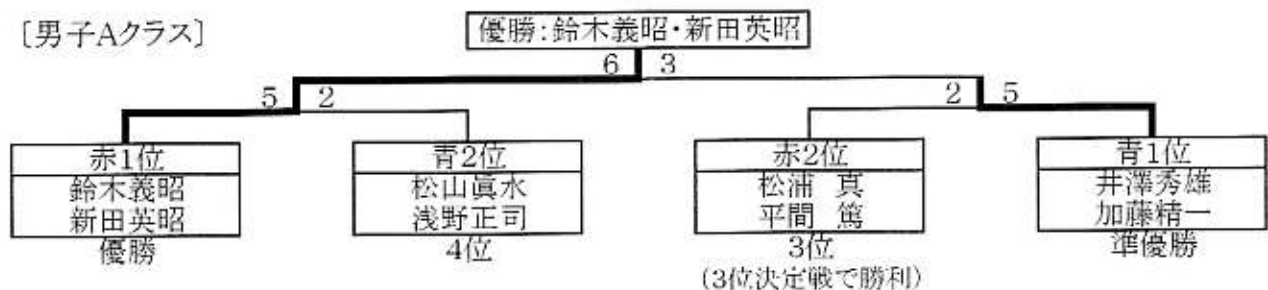
	男子		女子	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
Aクラス	11組	9組	12組	13組
Bクラス	7組	6組	7組	4組
Cクラス	0	0	0	3組
シニア	0	2名	0	3名

会 費 1200円 [上位入賞者に賞品・全員にお楽しみ賞]

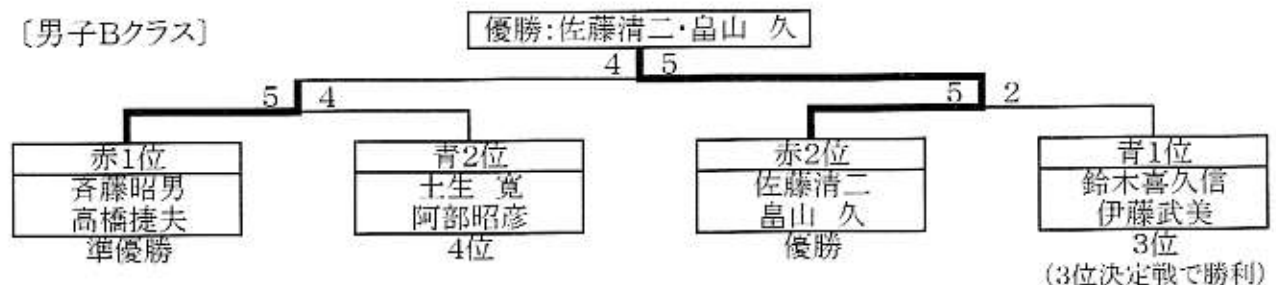
- 大会要項
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う。
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による5ゲーム先取
 3. 各クラスごとの総当たり戦(変則リーグ戦を含む)

決勝トーナメント結果

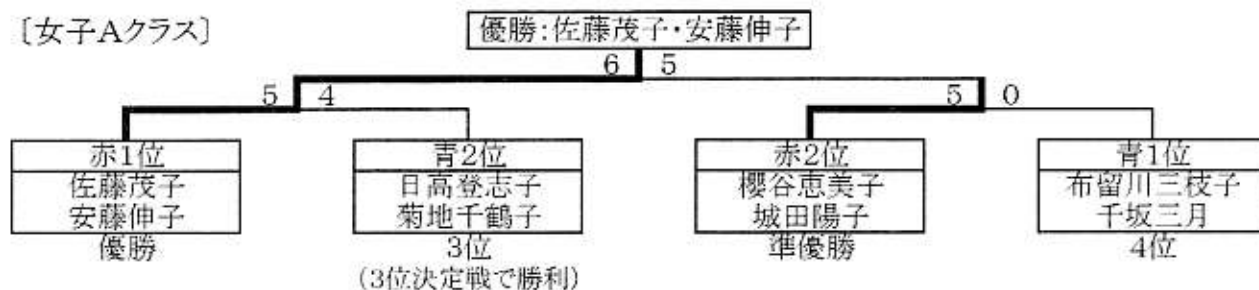
〔男子Aクラス〕



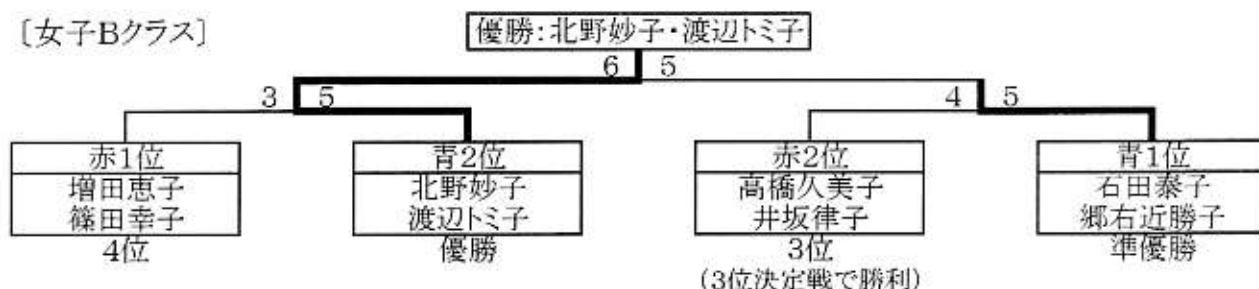
〔男子Bクラス〕



〔女子Aクラス〕



〔女子Bクラス〕



〔 連盟祭り(団体戦) 〕

期 日 平成24年12月8日(土) 9:00~17:00

会 場 シェルコムせんだい 6面

参加者	今年度	昨年度
男子	32名	35名
女子	52名	50名
合計	84名	85名

参加者は下表のとおりです。

(都合により欠席された方も入れてあります)

25年度もたくさんの参加をお待ちしています！。

赤組	男子	平井 正光	菊池 繁夫	坂本 政祀	田中 稔	小田島政勝
	女子	金谷 昌徳	★伊藤武美	齊藤 健吉		
		井澤 三幸	大賀やす子	瀧本 光子	安藤 伸子	瀧原佐和子
		置田眞樹子	大谷 昌子	木幡 栄子	★渡部静江	石田 泰子
		佐藤 茂子	日高登志子	西城 啓子		

青組	男子	土生 寛	鈴木 義昭	鈴木喜久信	大賀 延行	★高橋捷夫
	女子	鹿股 邦雄	菊地 昭男	樋口 義修	井澤 秀雄	
		梅崎千枝子	太田せつ子	佐藤みつ子	郷右近勝子	千葉みちこ
		宍戸 恵子	布留川三枝子	阿部ちづ子	★阿部眞知子	後藤つや子
		遠藤 慶子	菊地千鶴子	篠田 幸子		

緑組	男子	和田 忠彦	飯野 雅	斉藤 昭男	加藤 精一	★斉藤次郎
	女子	岩井隆太郎	上野 宏治	波田 隆男		
		平井 郁子	北野 妙子	台野 清子	後藤としこ	中川 和子
		富士 レイ	千坂 三月	庄司 清子	山崎由美子	樋口美也子
		添田 恵子	★庄子和恵	金谷まゆみ		

桃組	男子	奈良征一郎	佐藤 富男	置田 輝雄	中尾 紀一	千田 正義
	女子	新田 英昭	★武田隆一			
		伊藤 久子	菅野志津子	丸谷美智子	佐々木京子	八重樫トモ
		跡辺 清子	佐藤 勝子	木村むつ子	増田 恵子	川島 民子
		★櫻谷恵美子	西村 則子	森 佳子		

★印はリーダーです

- 大会要項
1. 参加者全員を4組(赤組・青組・緑組・桃組)に分けて、女子、男子、混合の各ダブルス3種目による団体戦を行います。
 2. 試合はセミアド方式による、1試合30分間の時間制限とします。

成績

	赤組	青組	緑組	桃組	勝敗	順位
赤組		⑦-6	5-9	⑧-3	2勝1敗	準優勝
青組	6-7		3-7	⑨-5	1勝2敗	敢闘賞
緑組	⑨-5	⑦-3		7-7	2勝1分	優勝
桃組	3-8	5-9	7-7		2敗1分	敢闘賞



優勝の緑組の皆さん



準優勝の赤組の皆さん



敢闘賞の青組の皆さん



敢闘賞の桃組の皆さん

〔 WEEKDAY交歓会 〕

WD担当からの声！3つほど。

- ①この数年のWDの参加者は、40人ほどの固定メンバーとなつて、なかなか新しい人が増えないのがひどく気になっています。このままでは何らかの対策(面数減、時間減、料金UP等)を打たなければなりません。そこで、よく来て頂いている方々に是非、周りの方と一緒にいこうと声をかけていただけませんか。
- ②皆様からWDをもっと楽しくする提案を求めています。気がついた点があれば、是非、係の方にお知らせ下さい。
- ③24年度の皆勤賞(4月～12月まで)受賞者は、斉藤昭男さん、上生寛さん、阿部眞知子さんの3名でした。天候不順で開催が危ぶまれたにも拘わらず、毎回参加して頂いた事に感謝し、会より賞を贈らせていただきました。

競技部 斉藤 次郎



会長と記念撮影

技量別ダブルス大会優勝者の一言

男子Aクラス：新田英昭、鈴木義昭(記)

本大会に優勝させていただきましたのはひとえにパートナーの新田さんのお陰です。予選4回を戦いました。初戦は次々とポイントを取られて苦戦しましたがやっと5-4で取ることが出来ました。第2戦は4-2と先行しておりましたが、さすがに強く4-4と追いつかれ、最後はジュース1本となりやっと勝つことが出来ました。幸い3戦、4戦と勝ち決勝トーナメントに進むことが出来ました。決勝トーナメントはテニス巧者の方々です。基本的なボレー合戦が続き一進一退の戦いとなりました。このときもパートナーより戦術的な動きを教えていただき、相手の態勢を崩すことができるようになり優位にポイントを重ねることができました。結果的に準決勝、決勝と勝ち上がり私にとっては初めての技量別(Aクラス)優勝となることができました。

本大会で学んだことは基本に忠実であること、常に相手の態勢をみてボールの打ち込まれるコースを予測して動き、反撃にそなえることが重要であることを実感しております。日常の練習試合ではいつものメンバーでそれぞれの打ち方や動きは熟知しており、マンネリ化した対応となり緊張感のないゲーム運びになりがちです。やはり常に今回の大会のような試合巧者に対応することを念頭におき、練習に励み精進したいと考えます。

男子Bクラス：佐藤清二、畠山久(記)

今日は、幸運の連続でした。優勝は無理と思っていたので、あまり緊張しないで気楽にプレーしたのが、勝因と思います。

予選は2勝1負で、何とか決勝リーグに進みました。準決勝は調子が良くて、決勝に進みました。決勝は予選で負けた相手で、ロブが非常に上手なペアで負けを覚悟していましたが、幸運にも逆転勝ちで優勝できました。優勝は初めての経験で嬉しかったです。

最後に、楽しくテニスができるように大会運営をしていただいた役員の皆様に感謝申し上げます。



技量別ダブルス大会入賞者の皆さん

女子Aクラス：安藤伸子(記)、佐藤茂子

9月に入りまだまだ暑い日が続いているなか、朝の怪しい天気にもかかわらずとても暑いなか私は初めて組ませていただいた茂子さんと楽しくプレーができ、又優勝することができました。予選、本選と皆さん上手で、さすがシニアの人達だと痛感させられました。又役員の皆様には試合の進行と選手で大変ななか、何事もなく無事終り感謝しております。今日は本当にありがとうございました。



女子Bクラス：渡辺トミ子、北野妙子(記)

みやぎいきいきテニスに、久しぶりに参加させて頂きました。初めての技量別大会に緊張しましたが、ペアの渡辺さんから、楽しく気楽にやりましょうの一言で、落ち着いて、対戦相手の力強いボールに圧倒されながらも無心でボールを追い、ペアに助けられて主人の応援と共に、優勝する事が出来ました。良い思い出になりました。これからも、健康維持の為、夫婦で楽しく、テニスを続けていきたいと願っております。



第22回東北マスターズテニス岩手大会優勝者の一言

女子120歳以上の部：跡辺 清子(記)、庄子和恵

緑の木々に囲まれた閑静なテニスコート。思いがけない優勝でした。山崎由美子さんの声掛けで、我がペアの庄子和恵さんと、楽しむ事を第一に参加しました。

3.11の震災直後は、宮城を離れる事も一時考えました。再びテニスが出来るとは、当初思いませんでした。いきいきテニス連盟の仲間の励まし、応援のお陰です。

急遽参加した東北マスターズ大会、決勝の際には「2ゲーム取れたからいいよね」と庄子さんと顔を見合わせ一寸弱音。(心の底では頑張るぞ!の思いも少し有り。) そうだ!楽しく、気楽にプレー。終わってみればそれが良かったかな?。まあ、私にとっては後にも先にも全勝優勝というのはおそらく今回のみですネ、きっと・・・そして思いました、プレッシャーのかからない試合は誠に楽しい!と。庄子さんに感謝です。彼女の思い切りの良さ素晴らしい!です。年齢は私の方が大分上なのですが、すっかり頼ってしまいました。

夜の懇親会も又楽しいものでした。試合では見えない隠れた才能を見い出せる場ですね。

帰りは、実家のある水沢に寄り「優勝」の賞状を見せまくり気分良く帰宅しました。(テニスにあまり興味のない息子に見せても大した反応も得られないものですから。余談です。)

これから先も健康でテニスを楽しむ為に、「あまり無理をせず!」を常に心掛けて続けていきたいと思います。

最後に、もしかしたら津波にのまれたかも知れない、もしかしたら岩手に住まいを移したかも知れない。こんな私を支えて下さいました、多くの皆様に心から感謝しております。有難うございました。



2012年県南ブロック交流会

色摩 浩三

秋にねんりんピック宮城・仙台大会があった昨年は、スケジュール上、春の交流会一回の開催となりました。花見も兼ねて、と設定した4月13日は冬の寒さが厳しかったせいか、桜も蕾のままでしたが、快晴で気温も上がり絶好のテニス日和となり次の通り楽しい一日をすごしました。

月 日：4月13日（金）

場 所：グリーンピア岩沼 コート6面使用

参加者：総数45名 県南13名、仙台32名（男子17名、女子28名）

今までの最多の45名の参加者数で仙台は32名と、特に仙台女子は22名と多く、今回は対抗戦方式を止め、抽選により組み合わせを決めて、6ゲーム先取の男子、女子ダブルス、ミックスを行ないました。

全勝は男子2名、女子4名で誰と組んでも勝てる実力を見せた。次回も元気で腕を上げて再会しましょう。関係者のご協力に感謝します。



2012. 4. 13 県南ブロック交流会（グリーンピア岩沼）

県北ブロック交流会

菊池 繁夫

昨年は東日本大震災で我々テニス仲間も被害を受け、また予定していた松島運動公園のテニスコートも一部損傷し、使用不可の連絡があり急遽中止しました。

今年は運動公園のテニスコートも修復なり、9月20日に交流会を実施しました。

参加者は、仙台：男子13名、女子23名 県北：男子11名、女子9名 合計56名でした。今年ねりんピックが仙台で開催され、行事の多い時期であり参加者が少ないのではないかと危惧されましたが、予想とは違い多くの方々に参加して頂き大変有難うございました。

交流会の内容は、前回同様参加者を仙台と県北の二つに分け（一部派遣あり）、男子、女子、混合の各ダブルス3種目とし、一人4試合を消化する対抗戦としました。

前回と違った点は、ゲーム時間を5分延長し、25分間の制限時間一杯まで試合を行う事にしました。一試合のゲーム数は、最大10-0、最少3-3でした。5分間延長したことで、試合の満足感は若干アップした様でした。

試合結果は、仙台37勝、県北15勝、引分4で、仙台の圧勝でしたが、県北（石巻）には初心者もおり、技量的にはまだまだですが、交流会等を含め外の空気に触れ研鑽したいと思っております。

県北の交流会は、「食べてテニスを楽しむ」をモットーに、今回も豚汁を始め餅も種類増やし、皆さんの期待に反しない様前日から女性の方も含め頑張ってもらいました。当日の天気が大変心配でしたが、前日までの猛暑も和らぎ薄曇りながらテニス日和に恵まれ安堵しました。

昼食時間は試合の合間をみて各自取って頂きました。仙台の方より差し入れもあり、用意した餅、豚汁（裏方のトラブルで若干の遅れあり）等食べながら交流を深めました。皆さんに美味しく食べて頂いた事が何よりでした。

今回の交流会は、震災で一年間のブランクがありましたが、多くの方々の参加を頂き大変有難うございました。テニスの試合内容は、技量の差は致し方なく各自の満足度は違いますが、交流会として楽しく和やかに行われ、所期の目標は達成されたと思います。

皆さんのご協力で、怪我もなく予定通り完了出来ました。我々として反省点が2、3ありましたので、次回に生かしたいと思っております。どうも有難うございました。



2012. 9. 20 県北ブロック交流会（松島運動公園）

対いわきVTC親善交流大会

奈良 征一郎

9月15日(土)、16日(日)の2日間に亘り、いわきベテランテニスクラブ(IVTC)と第25回目の親善交流大会がグリーンピア岩沼で行われました。昨年は3.11大震災と原発事故のため中止したので2年ぶりの開催となりました。

初日は穏やかなテニス日和の中、参加者は、いわき側が、男子6名、女子15名の小計21名、みやぎいきいき側が、男子15名、女子21名の小計36名、合計57名でした。

競技は参加者全員で「親善交流を第一」に競技部の世話により、男子ダブルスと女子ダブルスで楽しくプレーできました。

夜は同施設内のモンタナリゾートホテルに宿泊、楽しい懇親会ができました。今回の特別企画として二次会用に会議室を用意し、大震災とその後の災害につき「いわき市の状況」と「みやぎの状況」の情報交換と理解を深めるチャンスとしました。

福島県がまだまだ大変な様子が分かりました。その中で、いわきの皆さんが復興に大変な苦勞をしながらテニスを楽しむ様子が分かりました。

2日目も快晴、混合ダブルスの白熱したゲームが繰り広げられました。

全て予定通りに進行し無事閉会式となり、次回はいわき側に主催をお願いすることになりました。



2012. 9. 15 対いわきVTC親善交流大会 (グリーンピア岩沼)

第22回 東北マスターズテニス岩手大会に参加して

加藤 精一

10月2日(火)～3日(水)に盛岡市太田スポーツセンターテニスコートで開催された、第22回東北マスターズテニス岩手大会に参加しましたのでその概要をご報告します。

このコートは、御所湖下流の雫石川の桜並木に沿って横に16面(ナイター設備10面)並んだ配置で、近くには芝生広場やキャンプ場がある緑豊かな所にあります。

今回の参加者は、180名(男子110名、女子70名)(青森20名、秋田30名、岩手64名、山形24名、宮城12名、福島30名)で、台風の影響で秋田・岩手県が不参加となり、当初予定の156名から約3分の2の104名(男子63名、女子41名)であった前回大会に比べ盛会となりました。

宮城県からは、男子150歳以上1チーム、140歳以上2チーム、130歳以上1チーム、女子120歳以上2チームの12名の参加(その他女子1名が福島県130歳以上として参加)で、相変わらず他県に比べ寂しい状況でした。

試合方法は、6ゲーム先取ノーアド/35分打ち切り、男子130歳以上、140歳以上、女子120歳以上のみ2ブロックのリーグ戦、その他は1ブロックのリーグ戦で行われました。

初日試合終了後は、会場から10分程の御所湖畔の繋温泉「ホテル大観」で18時30分から懇親会が開催され、アトラクションでは地元の獅子踊りが披露され、またカラオケ上手がテニス以上に頑張っ場を盛り上げて下さいました。

翌日は引き続きリーグ戦が行われ、ブロック別に1位抜けによる決勝戦、2位抜けによる3位決定戦が行われました。

宮城の戦績は次の通りです。

- | | | |
|-----------------|-----|-------------------|
| ○ 女子120歳(14チーム) | 優 勝 | 跡辺 清子・庄子 和恵 |
| ○ 女子130歳(9チーム) | 優 勝 | 安藤 伸子・十林 八津枝(福島県) |
| ○ 男子140歳(18チーム) | 3 位 | 菊地 昭男・加藤 精一 |

ご存知のようにリーグ戦による順位決定は、勝ち点の高いチーム、次いで対戦の勝者、ゲーム取得率、合計年齢の順によるのが一般的であり、チーム数によっては直接対戦がなく、うっかり勝ち点だけを気にしていると同じ勝ち点でも順位が下がってしまう事があるので、勝つ時はしっかり勝ち、負けは粘って僅差で、が鉄則です。でもテニス仲間と楽しいテニスをやるのが第一です。

今年(平成25年)は、福島県で開催予定です。近場なのに相変わらず参加者が少ない宮城県と言われたいように、声掛けあって多くの方々の参加をお願いします。

尚、今後の予定は、平成25年：福島県、平成26年：山形県、平成27年：宮城県です。



「特集」 ねんりんピック宮城・仙台2012を開催して

レフェリー 青木 興一

2012年に、宮城県で「ねんりんピック」を開催する事は6年前くらいから予定されていた。これまでの各地での大会に宮城県選手を推薦することを担当してきた立場から考えると、地元での大会開催に当たっては相当の協力をしないとイケないとの心構えは持っていた。

宮城県での開催予定が決まった時点から、県の担当部署では大会開催に関する準備作業に入っており、各種の検討を進めてきていた。2010年に宮城県でも、ねんりんピック開催に向けての正式な組織（ねんりんピック宮城・仙台2012実行委員会）を立ち上げ、活動を開始する事となった。テニス競技は仙台市で開催することも決まり、仙台市で開催する他の競技を含め、仙台市の実行委員会で具体的な実施計画を作成する事になった。



テニス競技を主管する宮城県テニス協会としては、まず問題となる大会の運営方法を確認することが必要であるため、2010金沢大会の運営方法の確認を行った。選手として参加する事と違った目線での大会運営を確認することで、通常の大会運営には見られない点がいくつかあった。

全体的には、試合をスムーズに進行するためのプログラム作りと、審判員、補助員の確保、使用するテニスコートの確保の3点が最重要課題である。この他選手の宿泊施設、輸送手段、会場での選手の待機場所、誘導を含めたおもてなしなど色々出てくる。

1) プログラム作りについては、石川県テニス協会で使用したプログラムを送ってもらうこととして、参加チーム数が増える事の対応をプログラム改良でスムーズに乗り切れると判断した。平井先生にお願いすれば簡単に行くはずと考えお願いし、引き受けて貰った。(実際は大変なご苦労を掛けてしまった事を後で知った。)改良されたプログラムを責任上確認しなければと、自分のパソコンで動かそうとしたが、ソフトが古く容量不足のため動かず、他から借用して何とか確認を取ったりした。

2) 審判については、付けないでセルフジャッジとすべきであるという意見も可成り強く出されたが、色々トラブルが予想される事もあり、最終的には付けることとした。審判は現在宮城県では、一般の大会ではほとんど採用されていない。石川県では大きな大会で審判を付けることが行われていたので大きな問題とはなっていなかった。宮城県では、これまでは女子連の方が主体となって担当をしてきたいきさつがあるので、担当をして貰うこととした。また、補助員はボールパーソン、スコアパーソンであるが、通例は高校のテニス部員にやって貰う事になっていた。ただし、今回の場合2日目は月曜日であり、通常の授業が行われている日である。このための対策を、高体連の先生に動いて貰い、大会実行委員会(会長 村井嘉浩)から、県教育長から各校長宛に協力要請文書を出して貰うことで対応出来るようになった。

3) テニスコートは泉総合の18面を主会場とする事を早めに決めて貰った。雨天時の対応としてシェルコムを希望していたが、ソフトテニスとの関係でなかなか決まらなかった。結果としてソフトテニスは他の体育館でも出来るということでテニスがシェルコムを使用できるようにして貰った。

以上をふまえて全体の運営については、ディレクターを宮城県テニス協会の理事長として、運営の主体を、宮城県テニス協会組織の中で「ねんりんピック」に最も関係の深い「いきいきテニス連盟」とする構想で臨むこととして進め始めた。

2011年3月、4月の東日本大震災のため一時は開催が危ぶまれた事もあったが、一部の競技を除いて開催することが決まった後に準備作業を急速に進めるようになった。

中でも審判員について必要人員は最低40名、余裕を考え50名が必要である。これに対して、その時点で確保できる審判員は多く見積もっても20名程度との事であった。このため、審判員養成に関する事項に力を入れなければならなかった。熊本大会へは審判員養成を含めて審判員の業務に関する視察を女子連担当者に行なってもらった。その後審判養成講習会を開催したが、当初5回くらいで十分と考え予定していたが、合計9回の講習会を行ってもまだ不安な状態が続き、結果として補助者を多く採用する事となってしまい、可成りの経費をこのために使う事となった。

本大会のリハーサル大会として位置づけて臨んだ、2012年マスターズ春季大会で審判員の仕上がり状態と、運営体制、雨天時のコート条件を確認する事が目的であり、いきいきテニス連盟の競技担当者を中心に運営を行って貰った。結果としては、1次リーグから2次リーグに移る際の組合せ決定に手間取り、可成りの時間空きコートが出来てしまい試合進行が遅れた事が目立ってしまい、他の点はかすんでしまった。この点は反省材料として、本大会では平井先生にお願いしていたプログラムが使えれば問題なく進むと考えていたが、他からの圧力なのか運営をいきいき連盟で行わないこととなってしまった。この結果としてそれまで、多くの会員の方にお願いつつあった役割を担当出来なくなってしまい、お手伝いしたいとのお気持ちを持った会員の方々の思いに応える事が出来なくなってしまった。

その後、5月になり具体的な準備作業を進め、6月末に宮城県テニス協会を中心としたテニス競技の実行組織を正式に立ち上げ開催の最終段階を迎えた。全体的な取りまとめは総務委員会、競技の進行計画および結果の報告等は記録委員会、大会当日の進行は進行委員会、会場の設定等は会場委員会、審判関係は審判委員会、ボールパーソンとスコア表示を担当するBPC委員会と業務分担をして、各委員会毎に準備を進めた。全体的なまとめは、ディレクター、レフェリー（アシスタントを含む）サイドで行い、調整が必要な場合には全体又は個別に会議、打ち合わせを行い調整を行うこととした。これに必要な経費は総枠の中で総務委員会経由で支出出来るようにした。

中でも色々細かな打ち合わせが必要だったのが、記録と会場であった。記録の方は、平井委員長が全体を上手くまとめてくれたお陰で比較的スムーズに進行出来たように思われた。しかし、個人的には、仙台市の実行委員会の方からの会場掲示板への掲示物と、審判からの要求などがあり可成りご苦労をされていた。また、会場の小田島委員長も会場の設定に関して仙台市実行委員会の担当者、掲示板作成業者等との打ち合わせに多大な精力を傾けて頂いた。

レフェリーとしては準備段階での、「テニス交流大会開催要項」を取りまとめて、大会の大枠を全国に発信、組合せ抽選会を経て「テニス交流大会 プログラム」の作成取りまとめを行った。また、審判、ボールパーソンのマニュアルを担当委員会の委員長他と打ち合わせて策定していった。本番直前には、監督会議で使用する「監督会議資料」の取りまとめを行って大会に備えた。

大会の初日、宮城野原での総合開会式の後には監督会議が行われ、競技方法全般にわたって詳細に説明を行い、当日の進行が上手く行くように努めた。質疑応答を経て大部分は好意的に理解して頂けたと思われた。

翌日の、交流大会の試合初日は、天候の具合で晴天用



のプログラムで行くのか雨天用とするのかを判断するため、アシスタントを含むディレクター、レフェリーが試合会場に早朝5時半に集合し、試合方法の決定を行った。幸い晴天の予報通りで、雨の心配もなさそうなので、晴天用プログラムで実行することとして、各参加チームに連絡を取ってもらう事として、後は会場の準備状況の確認を行った。その後、各役員が到着しそれぞれの分担業務の準備を始め、選手の到着を待った。

選手が到着して、監督会議の席上で割り振った時間通りのプラクティスに引き続き、試合を開始して貰い、比較的順調に進行していった。やはり、コート毎に進行の早い遅いがあり、アシスタントレフェリーには想定していたコート移動のタイミングを考えて貰うよう打ち合わせていた。また、細かなルール上の問題であるロゴ違反の判断に審判がこだわっていたので、注意で処理していたが、余りにも多いので最終的には取り上げないこととした。心配していた審判のミスが幾つか出て、その調整にアシスタントレフェリーに当たって貰った。幾つかの試合の移動を予定していたが、早めに手を打って置いたので比較的スムーズに移動出来た(審判員、ボールパーソン含め)。これにより、初日の試合はバスの出発予定時間までには終了する事が出来た。しかし、わずかな時間差で試合結果を選手に渡す事が出来なかった。シェルコムで行った試合結果が、泉コートの進行に届くのに時間が掛かってしまったのが原因であった。

その他に、細かいことで想定していなかった事態が2点あった。1つは健康マージャンが泉体育館で行われており、隣接する11～14コートの出入り口付近にその関係者の使用する車が駐車しており、選手の移動が難しくなっていた事である。仙台市の担当者に交渉をお願いしたが、結果として対応がとれず、選手に不便を掛けてしまった。もう一つはシェルコムでのプラクティスを自由に行えるように配慮したが、利用者が少ないと見込んでいたので使用開始時間を遅くしていた。しかし、早く使用させるとの要求がシェルコムにいた記録担当者に出されていたが、その時点で連絡が入らなかったため、対策がとれなかった。

交流大会の2日目も、5時半の集合で試合方法の決定を行い、前日に続き晴天となる予報通りと判断し晴天用の試合方式で行くことを決定した。宿舎への連絡が上手く取れたと思われ、選手達はそれぞれの指定された順に従って練習に入り、試合開始時には試合が開始された。試合の進行は比較的順調に推移したが、一部熱戦が続いたブロックで遅れがあった。また、順位がかかる場面で審判のジャッジが出来ない事態も発生してしまった事もあり、予測はしていたが、レフェリーの仕事が多かった。1つのブロックでの試合が残ったため、表彰式が予定通り出来るのか心配させられたが、何とか終了できてホットした。

この遅れの原因の一つに、プログラムが完璧すぎて前の試合結果が入力されなければ、次の試合の対戦カードが作れない点にあった。試合が終了しているのに、審判が戻ってから進行に結果を渡し、進行から記録係の手順を踏んで入力して始めて、次の対戦カードが作成される事になっていた。応急処置として、印刷されるまでの間を手書きの対戦カードを作り対応する事でイライラ感が幾分か解消した。最終試合の結果を入力し、全ての順位が決定し、予定通りに表彰式を行うことが出来た。

大会結果は記録委員会の方でまとめて貰い、速報で仙台市および宮城県の実行委員会に送付した。また表彰式終了後は、ほとんどの大会関係者が表彰式会場に集まっていたので、各委員に運営に協力して頂いた事に対する感謝の意を伝え解散とした。

今回は、晴天に恵まれたこともあり想定した以上に運営が上手くいった、良い大会運営だったと自負している。これもいきいきテニス連盟の皆様のご協力の賜物であり、県テニス協会の役員はじめ女子連、仙台市テニス協会、高体連の先生方およびテニス部員の方々が協力して推進してくれた結果でもあります。また仕事とはいえ、仙台市の実行委員会の方々、中でも直接担当の村上さんの力が大きかったと感謝しております。

「特集」 「ねんりんピック宮城・仙台 2012」 所感

記録・広報委員長 平井 正光

2011年の春頃、七北田テニスコートで、青木氏から「今度仙台で開催される “ねんりんピック宮城・仙台 2012” の記録係を引き受けて呉れないか」と持ち掛けられました。それまでも、各地での「東北シニア」の大会で、試合進行、記録を手掛けて居たものですから、「マー遣れるんじゃないか」と思い、申し出をお引き受けしました。その後、昨年12月8日の連盟祭りに参加した際、「報道・記録に拘わった感想を書け」との御命令を連盟の役員の方から受けました。以下に報道・記録に関わる所感を披露させていただきます。

報道・記録係の仕事は、先ず、記録は正確さ、報道は解り易さ・迅速さにあると心得、その為のソフトの整備、各担当の陣容を整え、事に当たりました。

先ずソフト面から回顧しますと、「東北シニア」の大会用のソフトを使う事を考えましたが、青木氏から、2010年度、金沢大会のソフトを提供され、検討した結果、これを使う事にしました。このソフトは2001年頃作られた模様で、以来、大会毎に改良して使われていたようです。金沢大会では参加チーム数68で、宮城・仙台大会は72チーム。4チーム増えただけで、4チーム編成の1ブロックを増やせば事足りるようですが、ソフトはそう簡単には変更出来ず、一苦労でした。大会の要である試合進行表を中心に、色んな事を出来るだけ自動化し、大会中、諸問題を迅速に処理出来る様に構成しました。更に、報道・記録係としては、期間中、晴天のみを期待する事は出来ず、雨の場合も想定して、シェルコムでの予選、決勝のプログラムも用意して備えておきました。

本番で、報道・記録を行うために、

パソコン記録係： 大賀延行、星将博、黒木俊光

スコア票整理・報道係：中村行秀、高橋功、渡部静江、中川和子、庄子和恵、
山崎由美子、若林登

の各氏に御協力頂き、皆さん粉身砕骨の大活躍でした。

スコア票整理・報道係は試合進行係からの各試合のスコアをパソコン入力係に伝達。その後、「スコア票」を整理、保存し、更に試合結果を掲示板に速やかに表示すると云う業務を行って戴きました。参加選手達には試合結果を迅速かつ正確に理解して戴いたと自負しています。パソコン記録係はスコアをパソコンに正確に入力、各種結果の印刷など、多くの業務が有りました。それらを無事に遂行するため、皆さんに大会前に2、3回集まって戴き、実戦を模した予行演習もしました。その結果、大きなミスも無く、係の皆さんと共に大役を無事に終える事が出来ました。御協力頂いたメンバーの方々には此の紙上を借りて改めてお礼申し上げます。

所で、全体を振り返りますと、第一日目の予選リーグ戦では試合順序が決まって居るので、順調に試合が経過し、報道・記録も順調でした。然し、第2日目の決勝トーナメントでは、1、2回戦は順調でしたが、3回戦以降はその度に試合組合せが決まるので、その度に「スコア票」



を作成する必要があり、その都度、時間を取って仕舞い、一部試合進行が遅れたことがあって、少々反省材料が発生した事は一寸残念でした。

御存じと思いますが、試合進行、審判には、「日本女子テニス連盟宮城県支部」の多くの女子が大いに活躍されました。本大会の審判に用いられた「スコア票」は内容が詳細で、支部長と相談して、審判や記録係に使い易いものに改良もしました。

次に、大会全般に関しての所感を少々。

宮城県・仙台市発行の大会のパンフレットによると、今大会の「主管」は「宮城県テニス協会」でした。所が、本大会準備中、宮城県テニス協会の役員が大会運営に関する会議に出てきたのは、2、3回に過ぎず、実質的な運営に拘わる事はほぼ皆無だったといってよいでしょう。その一方、大会が始まるや、如何にも協会が大会を実質的に運営しているかのような様子で振る舞い、ある役員は大会中に進行係や記録係の働いているスペースにやってくる、監督顔で見回すだけで、ねぎらいの言葉も無し。

大会準備期間中に気になった事を少々。準備の為に当連盟の会員が集まって、大会開催に関する相談を行いました。折角、会員が意見を出しても、どうしても取り上げられない場面が少々ありました。会議と云うものは、種々の意見を取り上げ、会議内容(大会)をより良いものにするものと思っている人も多く、今一しっくりしなかったのは、心残りです。

最後に、各会場脇の試合進行掲示板、結果掲示板は、仙台市の「ねんりんピック推進室」の村上駿氏がデザインし、業者に依頼して呉れたものです。その他、テニス大会遂行上、村上氏には種々尽力戴きました。この紙上を借り、お礼申し上げます。

以上、報道・記録係の所感でした。

宮城県・仙台市チーム成績

第1日目(10月14日)：ラウンドロビン方式の予選

宮城県Aチーム：Aブロック・4位、	仙台市Aチーム：Rブロック・2位
宮城県Bチーム：Iブロック・2位、	仙台市Bチーム：Dブロック・3位
宮城県Cチーム：Eブロック・3位、	仙台市Cチーム：Mブロック・4位
宮城県Dチーム：Lブロック・1位、	

第2日目(10月15日)：1, 2, 3, 4位毎のトーナメント戦

宮城県A／新潟市：2-1 (2回戦)	宮城県A／大阪市：0-2 (3回戦)
宮城県B／岐阜県：1-2 (2回戦)	
宮城県C／仙台市B：1-2 (2回戦)	
宮城県D／兵庫県：3-0 (2回戦)	宮城県D／茨城県：1-2 (3回戦)
仙台市A／横浜市：0-3 (2回戦)	
仙台市B／宮城県C：2-1 (2回戦)	仙台市B／滋賀県：0-2 (3回戦)
仙台市C／石川県：2-1 (2回戦)	仙台市C／岡山県：0-2 (3回戦)

全体としての結果

	優勝	準優勝	3位
1位グループ	神戸市	愛知県	三重県 茨城県
2位グループ	愛媛県	横浜市	
3位グループ	東京都B	滋賀県	
4位グループ	岡山県	山口県	

「特集」 ねんりんピック宮城・仙台 2012 テニス交流大会に参加して

松山 眞水

昨年の12月初旬のある朝、私が「いきいきテニス連盟の母」と尊敬している千葉広報部長よりお電話があり、「ねんりんピック宮城・仙台大会」出場選手としての感想文を投稿する様にとのお達しがありました。突然のこと、大会が終わってから2ヶ月が経ち、最近とみにボケが激しく記憶が定かでない小生の任にあらずでしたが、宮城県の四番目の代表選手と連絡を受けたのも突然だったし、お電話を受ける2、3日前に震度4の地震も突然あったし・・・この大会は突然が付き物なのだとは妙に納得し、ましてやご婦人からのお達しとあれば・・・と引き受けてしまいました。



地元で開催されましたので、簡単にねんりんピックの概要をご紹介します。今大会の正式名称は「第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会」です。主催は厚生労働省を主体に県・市と財団法人長寿社会開発センターです。開催年の翌年に学年齢60歳以上の方が対象で、開催地は各都道府県を持ち回りで、一昨年は熊本、今年は高知の予定です。参加チームは47都道府県(東京都は2チーム)と20の政令指定都市から1チーム、開催県・市からは複数チーム参加出来ます。因みにテニスは宮城県から4チーム、仙台市から3チーム出場しました。

種目は健康関連のスポーツ交流(テニス等)、ふれあいスポーツ(ダンス・なぎなた等)、生きがい関連の文化交流大会(囲碁・将棋等)、その他各種イベントがありました。

10月13日から4日間、宮城県全域17会場で開催されましたが、マラソンとソフトボールは震災の被害で開催出来ませんでした。全国から約8千人の人々が訪れ、13日の総合開会式から終了後の観光旅行等、大会期間中絶好の秋晴れに恵まれ、宮城を存分に満喫し交流頂いたものと思います。暑いぐらいでテニス会場ではソフトクリームの無料提供所に長い列が出来ました。

一昨年仙台市代表で出場した熊本大会も今回の宮城大会も、健康・福祉に加えて、東日本大震災からの復興もメインテーマでした。

特筆すべきは、テニス種目から宮城県Cチームの庄司勝子さんと武田義子さんのお二人が、長年お元気でご活躍しているということで、特別表彰されたことです。

私たちは宮城県Dチームとして、M60 斉藤・庄司、W60 武田・柴原、M70 松山・桜井、(敬称略)のメンバー。

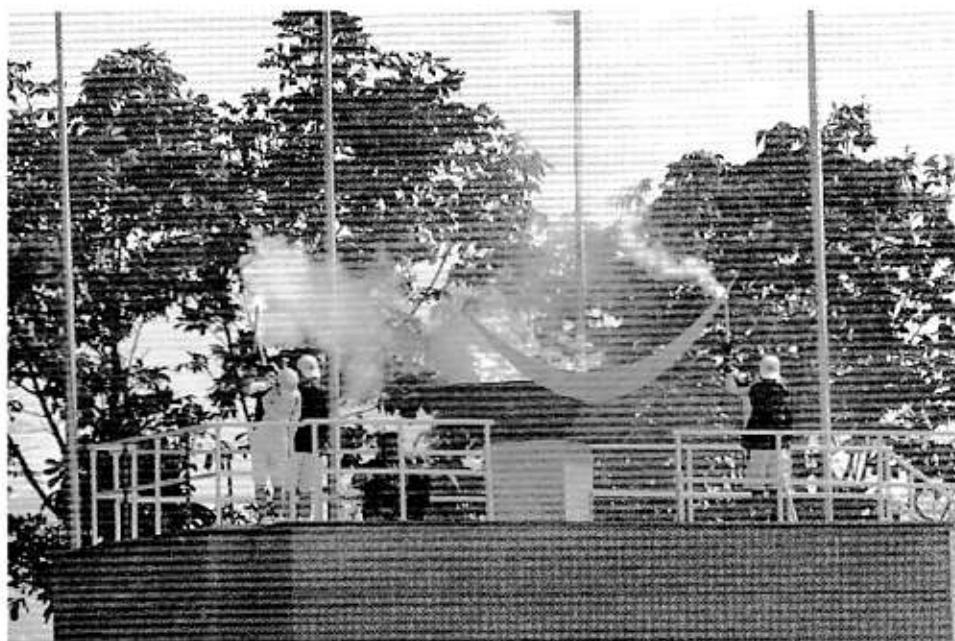
一日目予選リーグ戦は、石川県、福岡市、浜松市の順で対戦。石川県とは、3ペアが4-1のゲームスコアで3勝する幸先の良いスタート。石川県の選手は、Dチームだから頂きだと思っていたのにと悔しがり、チームの名の「D」が解せない様子でした。福岡市とはM70は負け、60歳組が勝ち2-1で勝利しました。浜松市とはM60が接戦で負けるも、先にM70、W60が2勝しており、2-1で勝利。3戦全勝で二日目の1位トーナメントに進むことが出来ました。尚、勝利出来たのは、対戦前に相手チームに宮城県の有名な銘菓を贈ったことも大きな要因ではないかと思っています。(対戦相手からは頂けなかったけれど・・・浜松市からウナギのPRパンフレットだけは頂きましたが・・・)

二日目の決勝トーナメントは1R 兵庫県。強豪で(ちなみに神戸市は1位トーナメント優勝)正に緊張した試合となりました。3パートともゲームカウント4-3とタイブレ

ークを征し、3-0で勝利しました。文字通りの激戦でした。2Rは茨城県、W60が4-0で勝つも、M70・60共に負け1-2で残念ながら2R敗退と成りました。もう一回勝ち進み、せめてベスト4まで行きたかった悔しさは残りますが、監督である小生として、ここまで勝ち進めたのは、全員のお互いをカバーするチームワークだったと感謝し、特に無敗の女性ペアを称賛したいと思います。

全国の選手名簿を見ると、ベテラン大会で関東や名古屋で対戦したことのある選手が数名おられ、会場でお会い出来た方もあり、同じ趣味のもと、このような機会に元気に会話出来ることの幸せを感じた次第です。

大会開催にあたり、いきいきテニス連盟の方々の、並々ならぬご尽力に深く感謝申し上げます。和田会長には選手としての責務も兼ねながら、見事に運営を纏められたことに敬意を表します。お蔭様で全国からおいでの方の全ての選手が楽しくプレー出来たものと思います。有難うございました。



天気にも恵まれ、素晴らしい盛大な式典でした。そして、最高齢者賞を頂きとても感激しました。思えば第一回大会にも出場したのです。二十五年も前になるのですね。感無量でした。確か神戸だったと思うのですが、今回の様に盛大な様子ではなく、何となく我々も初めての事なので恐る恐るの出場だった様に思った事でした。

テニスもただボールが打てればよしとする様な事だった様に覚えております。入場行進とかもなく、一同に会合し、やはり常陸宮様のご挨拶があったと思えました。

その後、バスでそれぞれの宿舎に向かった様に覚えております。それ以後テニスが楽しくて止めずに今までやっております。その間には、日本シニアテニス連盟に加入して、全国のテニスプレーヤーと年一、二回とプレーを楽しんで今に到りました。

また、女子会員だけの全国大会も出来て、大正会と命名して年一回三月に大会が開会されて、それにも参加して楽しんでおりました。でも年々会員も高齢のため少なくなるので、今年は昭和十二年生まれの方も参加して頂く為に、大正会改め大昭会とする事にして、四月に静岡で開会する事に決定しました。大昭会とシニア大会は我々年代の何時も同じメンバーなので、何時も楽しくプレーしております。関西方面の方が多いし、また暖かいので九州や四国方面が会場になります。

今年は第十三回大会になりますが皆様元気です。コーチに付いて週一回練習しておられる方々もおられ、とてもやる気満々で凄いと思っております。私も皆様について行きたいと思って、毎日夜寝る前に自己流体操をして、足を鍛えております。何と言っても足が動かなくなったら何も出来ないし、どこへも行かれませんので、足だけは鍛えて居るつもりです。

いきいきテニス連盟にも加入して、少しでもテニスが出来る事に感謝しています。色々とお世話役の方々に良くしていただき感謝致し、今後ともよろしくお願い致します。



いきいき会員 ねんりんピック宮城・仙台2012 出場選手一覧

(いきいき会員：選手43名中24名)

	70歳男子	60歳男子	60歳女子
宮城県A	坂本 政祀・和田 忠彦	—	跡辺 清子・日高 登志子
宮城県B	菊池 繁夫・渡辺 貞夫	平間 篤	—
宮城県C	飯野 雅	—	庄司 勝子*・八重樫 トモ 武田 義子*
宮城県D	松山 眞水・桜井 信治	—	—
*庄司勝子さんは最高齢者表彰、武田義子さんは高齢者表彰を受けられました。			
仙台市A	斉藤 昭男・藤田 吉雄	斉藤 郁	斉藤 由希子
仙台市B	—	—	酒井 倭子
仙台市C	加藤 精一・保志 則行	田中 稔・高橋 捷夫	千葉 みちこ・石亀 幸子

あゝ悩ましきテニス！

三浦 邦夫

私が、ブルドンテニスクラブの皆様は初めてお会いしたのが今から7年前の4月1日でした。前日、3月31日まで高校の体育の教員でした。

38年間、高校野球の監督をしていた私は土曜、日曜、祭日、一日もなく、甲子園に子供たちを連れて行きたい一念の野球、野球の監督の毎日でした。

ある日、仙台三高で大変お世話になった菊地功先生が、7年前に退職なされ、その後ブルドンクラブで楽しく硬式テニスをされているとお聞ききしまして、うらやましくてなりません。良いなあ、良いなあと思っていました。私も退職したら是非、ブルドンクラブに入り、テニスをしたいとズット思っていました。



たまたま、高校の体育教員だったものですから、授業で軟式テニスを生徒たちに教えたり、菊地先生に硬式テニスを教えてもらったりしていましたので、テニスの楽しさと、難しさは、それなりに理解をしていたつもりでした。授業で生徒たちと軟式テニスをして、時には硬式テニスクラブの部員と試合をしても、ほとんど負けなかったものですから、生意気にも自分はテニスが上手いかも、等とちょっと、白惚ていた一面があった様に思います。

そんな折、菊地先生がいやと言うぐらい、私めを打ち砕いてくださり、そのたびに目を覚まさせていただきました。その先生が楽しくおやりになっているブルドンクラブ、退職後の私の大きな生きがいであり、目標のクラブでした。菊地先生のお誘いもあり、退職した翌日、喜び勇んで泉コートに飛んでいきました。

クラブ入部の審査は厳しいとのことでしたが、菊地先生が上手くお話しして頂いたお陰で、無事入部決定。憧れのテニスが始まりました。私より皆さんは、年が上です。高校生に負けていない自分だから、年上の皆さんには負けるわけがないと思って始めました。自己流でしかテニスを知らない自分を、ラケットの持ち方から始まり、ダブルスでのポジションの取り方等、基本をしっかりと教えて下さいました。

しかし、なんと言ってもブルドンの皆様は、試合では手厳しく、三浦をトコトンかわいがって下さいました。こういうのをまさに『井の中の蛙』と言うのでしょうか。三浦はただテニスコートを走り回っているだけで、パートナーの方にただただ、ご迷惑をかけるだけで、こんなはずは無い、こんなはずは無いと思いながら、いっぼうでは俺はなんでこんなところに来てしまったんだろう？と、自問自答しながら、楽しいはずのテニスで、もがき苦しんでいました。

それでも、ブルドンの皆様は、三浦は5年たったら、イヤ、3年たったら、凄い選手になる、などと励ましてくださり、諦めもせず私にテニスを教えて下さいました。入部して6月までは、ジュース1本の声を聞くとパートナーに迷惑をかけては駄目と自分に言い聞かせ、結局硬くなり必ずそのゲームを落としてしまいました。これでは駄目だと一念発起し、本を買い、ビデオを買い研究した甲斐もあり、少しずつ、少しずつ、パートナーに迷惑をかけなくて済むようになってきました。

その後、ブルドンの皆様の殆んどの方々が、『いきいきテニス連盟』に入っていると聞き、自分も入れていただきました。なにせ、女性とスポーツをしたことなど無い私ですが、まさか女性に負けるわけが無いなどと安易な気持ちでテニスを始めたら、アッという間にゲームを奪われ、どこに打ってもボールが返ってくる、正に美熟女の達人の皆様です、これまた、テニスの奥の深さを教えて頂きました。

『いきいきテニス連盟』の初めての試合は年齢別で、82歳の光本さんと61歳の三浦で140歳の部に出場、光本さんのラケットコントロールと迫力のあるサーブで、52ゲーム

戦い、3位入賞させて頂きました。82歳の光本さんの52ゲームは凄いスタミナでした。

その後は菊地先生と組んで、利府町長杯、優勝、(菊地功先生の物凄い粘りと、勝負根性で勝たさせて頂きました)。翌年、土生先生と組んで技量別ダブルス大会、Bクラス優勝、(土生先生の老練なるテクニックと驚異的粘りのお陰で優勝できました)。翌年5月、但野さんと組んで年齢別ダブルス大会130歳の部優勝(但野さんの絶妙なロブ、負けず魂に励まされ、引っ張られ、頑張れました)。その年の秋、宮城県で東北マスターズがあるから、三浦君出なさいと、当時のブルドン会長の齊藤昭男さんに言われ、私などまだまだ駄目ですとお断りしたのですが、良いから出なさいと言われ、庄司さんと初めて組んで出場、(ハッキリ言って全敗覚悟でしたが、庄司さんの絶妙な勝負勘、ラケットコントロール、に引っ張られ)、思わぬ全勝優勝など、全て、パートナーに恵まれすぎてラッキー過ぎる、暴れはっちゃくテニスであります。

近頃はちょっと忙しいこともあり、ブルドンの練習さえも参加できない事もありますが、せっかく生涯スポーツとして教えて頂いた、この悩ましきテニス。暴れはっちゃくの足の動く限り、取れそうも無いボールを追い、勝てそうも無い正統派の達人に立ち向かいたいと思います。又、老練な技に翻弄されてもくじけずに、無い頭をフルに回転させます。まだまだ若いと思っているはずの体に鞭打って、持ち前の強靱な負けず魂を奮い立たせ、テニスを教えて頂ける全ての皆様に心から感謝し、日々明るく、さわやかな毎日を送って行きたいと思っています。

どんな強敵にも立ち向かえる、この素晴らしきテニスに感謝します。ブルドンクラブの皆様、いきいきテニス連盟の皆様、私にとって皆様は素晴らしき先輩であり、恩師であります。

今後とも宜しくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

蛇足ながら(さりげなく、さわやかに、さっぱりと、そして、大らかに!)三浦の信条です。

[事務局からのご連絡]

○入・退会の手続きについて

入会希望者は、当連盟の事務局または役員に連絡して「入会申込書」と専用の「年会費振込票」を入手し、申込用紙に必要事項を記入して、事務局または役員に送付(直接手渡し可)すると共に、振込票にて年会費(個人会員:2,000円、家族会員:3,000円)を郵便局から振り込んで下さい。年会費を振り込まれた方には、事務局より当年度の「会報」(含む、年間行事予定表・各種大会申込用ハガキ)、会員名簿等を送付します。これで入会手続きが完了です。

退会したい場合は、ハガキまたはFAXにて事務局または役員に退会する旨連絡して下さい。

○年会費納入について

年会費は、この会報が届き次第忘れない内に専用の「年会費振込票」にて納入をお願いします。

年会費納入の有無確認手続き上、必ず「振込票」にてお願いします。

現金での手渡しや会員の通帳からの連盟への振込みは行わないで下さい。

納入締切日(9月末日)を過ぎても振込みがない場合は、退会扱いとなりその後の連盟主催の各種行事に参加できません。また、連盟からの連絡事項や次年度の「会報」等送付されません。

納入締切日迄に忘れずに納入して下さい。

「年会費振込票」は、各会員に会報に同封しておりますが、万一同封されていない時、あるいは紛失した場合には、事務局宛または役員に連絡して下さい。また納入したかどうか忘れた方は事務局に問い合わせ確認をして下さい。また振込みをした時の「受領書」は、間違い(手違い)を防ぐため1年間は保存して下さい。

[逝去された会員]

中鉢 不二雄 様

謹んでご冥福をお祈りいたします。

〔諸行事案内と参加申込み方法〕

当連盟主催の行事は、二つに大別されます。「予め参加申込みの必要な大会」と、その必要のない「自由参加の Weekday 交歓会」です。これら「年間の諸行事」等のうち、申込締切りが本会報の発行前となる大会については、「年度初めの行事予定」と「大会要項」を、3月末日總會のご案内時にお知らせいたします。

總會において「年間の諸行事」「大会要項」が確認・決定されます。この結果を会報の「年間の諸行事予定」「大会要項」「参加申込ハガキ」としてお届けいたします。

予め参加申込みの必要な大会に参加の方法は、大会要項をよくご覧になり、行事名・開催期日・会場・時間・参加費・申込み方法・申込締切り等を確認のうえ、私製「申込ハガキ」（50円切手を貼る）又は「官製ハガキ」に必要事項を記入して、必ず締切期日までに届くよう投函して下さい。

1. 予め参加申込みの必要な大会

これらの大会には、次に示すように、原則としてパートナーと「ペア」で申込む大会と、「単独」で申込む大会がありますので、各大会の要項をよく見て申込んで下さい。単独で申込む大会の場合の組分けやペアは、年令や技量を勘案して役員会で決めます。

○年齢別ダブルス大会【ペア】	○秋季連盟祭り（団体戦）【単独】
○混合ダブルス大会【ペア】	○冬季混合ダブルス大会【単独】
○技量別ダブルス大会【ペア】	○年齢別室内ダブルス大会【単独】
○宮城県テニスマスターズ春季・秋季大会【ペア】	○春季連盟祭り（団体戦）【単独】
○東北マスターズ大会【ペア】	○県南・県北交流会【単独】
	○対いわき VTC 親善交流大会【単独】

- ◇ 各行事の申込締切日は、それぞれの「年間行事予定表」や「大会要項」に記載されていますので、忘れないようにご注意ください。
- ◇ 参加、不参加の混乱を避けるため、申込みは、ご本人が私製「申込みハガキ」で行なって下さい。家族会員の方は連名で結構です。
- ◇ 雨天等で開催期日または会場が変更された場合等のご案内は、別途お知らせします。

2. 自由参加の Weekday 交歓会

交歓会は、従来どおり自由参加とし、時間は、午前10時から午後5時(4月～9月)(10月～3月は午後4時)までです。都合の良い時間にお誘い合わせの上ご参加下さい。尚、未入会の方は参加時に入会の手続きをとって下さい。

会場は、「年間行事予定表」に示してある通り、4つの会場を使用します。参加費は500円です。尚、試合方法は、連盟の趣旨（会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める）を踏まえ、試合毎に出来るだけパートナーや対戦相手を変える方法で行なうようご協力お願いします。新入会員の方や会員に知り合いの少ない方、体力や技量などに少々自信がなくて知らない人との試合はどうも・・・と思っている方も、気楽に参加して下さい。パートナーや対戦相手で不安がありましたら、当日の担当役員に申し出て下さい。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

3. 連盟主催の大会の他に、宮城県テニス協会・東北テニス協会が主催する大会

詳細については、県テニス協会(ホームページ)、東北テニス協会(ホームページ)を参照して下さい。または、青木興一(県テニス協会常任理事：電話251-6411)まで、お問合せ下さい。

平成25年度年間行事予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月11日(木)	春季団体戦	シェルコムせんだい	3月31日必着
4月19日(金)	県南交流会	グリーンピア岩沼	4月9日必着
4月22日(月)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
5月22日(水)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
5月25日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	5月15日必着
6月14日(金)	Weekday交歓会	泉総合運動場コート(6面)	自由参加
6月29日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	6月19日必着
7月16日(火)	Weekday交歓会	南インターTC(4面)	自由参加
8月12日(月)	Weekday交歓会	泉パークタウンTC(6面)	自由参加
8月31日(土)	枝量別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	8月20日必着
9月14日(土) 15日(日)	対いわきVTC親善交流大会 (いわきVTC主催)	平テニスコート	7月28日必着
9月26日(木)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
10月 3日(木) 4日(金)	第23回東北マスターズテニス 福島大会	郡山テニスコート	7月20日必着
10月10日(木)	県北交流会	松島運動公園コート(4面)	10月1日必着
10月24日(木)	Weekday交歓会	泉総合運動場コート(6面)	自由参加
11月15日(金)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
12月 4日(水)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
12月 7日(土)	連盟祭り(団体戦)	シェルコムせんだい	11月27日必着

平成26年

1月15日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	1月5日必着
2月14日(金)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	2月4日必着
3月13日(木)	Weekday交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
3月27日(木)	春季連盟祭り(総会)	シェルコムせんだい	3月17日必着

平成25年度 市・県大会予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月 6日(土)	仙台市高齢者生きがい健康祭	七北田公園コート(8面)	3月15日必着
4月27日(土)	宮城県テニスマスターズ春季大会	シェルコムせんだい	4月18日必着
11月 9日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会	七北田公園コート(8面)	10月29日必着

※ 上記大会は、第26回 ねんりんピックこうち大会の選手選考大会です。

※ 第26回 ねんりんピックこうち大会 10月26日(土)～29日(火)

平成25年度 各種ダブルス大会開催要項

年齢別ダブルス大会(ペア)

期日：平成25年5月25日(土) 9:00～17:00
8:45分まで集合

会場：七北田公園コート(8面)

種目：[女子] 110以上、120以上、130以上
[男子] 120以上、130以上、140以上
(平成25年12月31日現在のペアの合計年齢)
[女子・男子]シニアクラス

注:シニアクラスは単独申込とし年齢制限なし
一試合毎にパートナーが変わります。

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。
但し、参加組数により変わります。

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組はパートナーを替えるか、
若い年齢種目に出場してください。
尚、単独での申込みも可ですがパートナーは
ご一任下さい。

申込受付：4月25日～ 締切日:5月15日必着

混合ダブルス大会(ペア)

期日：平成25年6月29日(土) 9:00～17:00
8:45分まで集合

会場：七北田公園コート(8面)

種目：混合ダブルス
Aクラス Bクラス Cクラス

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。
但し、参加組数により変わります。

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組はパートナーを替えるか、
上位のクラスに出場してください。
尚、単独での申込みも可ですが、パートナーは
ご一任下さい。

申込受付：5月29日～ 締切日:6月19日必着

技量別ダブルス大会(ペア)

期日：平成25年8月31日(土) 9:00～17:00
8:45分まで集合

会場：七北田公園コート(8面)

種目：技量別ダブルス
[女子] Aクラス Bクラス Cクラス
[男子] Aクラス Bクラス Cクラス
[女子・男子] シニアクラス

注:シニアクラスは単独申込とし年齢制限なし
一試合毎にパートナーが変わります。

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。
但し、参加組数により変わります。

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組はパートナーを替えるか、
上位のクラスに出場してください。尚、単独での
申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。

申込受付：8月1日～ 締切日:8月20日必着

連盟祭り(単独)

期日：平成25年12月7日(土) 9:00～17:00
8:45分まで集合

会場：シェルコムせんだい(6面)

種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子、
男子、混合の各ダブルスペアーをつくり
種目毎の団体戦を行います。

参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)

表彰：各チーム毎の成績を集計し、優勝、準優勝、
敢闘賞の順に表彰、賞品の授与があります。

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
(単独申込となります)

申込受付：11月7日～ 締切日:11月27日必着

平成25年度 各種ダブルス大会開催要項

冬季混合ダブルス大会(単独)

期日 : 平成26年1月15日(水) 9:00~17:00
8:45分まで集合

会場 : シェルコムせんだい(6面)

種目 : 混合ダブルス

Aクラス Bクラス Cクラス

[女子・男子] シニアクラス

注:シニアクラスは単独申込とし年齢制限なし

試合方法 : 各種目とも原則としてラウンドロビン方式
パートナーは1回ごとに替えるものとします。
尚、パートナーは役員会にご一任ください。

参加費 : 700円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい。
(単独申込となります)

申込受付 : 12月15日~ 締切日:1月5日必着

年齢別室内ダブルス大会(単独)

期日 : 平成26年2月14日(金) 9:00~17:00
8:45分まで集合

会場 : シェルコムせんだい(6面)

種目 : [女子] 55歳以上、60歳以上、65歳以上
[男子] 60歳以上、65歳以上、70歳以上
(平成26年4月1日現在の満年齢とします)

試合方法 : 各種目とも原則としてラウンドロビン方式
パートナーは1回ごとに替えるものとします。
尚、パートナーは役員会にご一任ください。

参加費 : 700円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい。
(単独申込となります)

申込受付 : 1月13日~ 締切日:2月4日必着

春季連盟祭り・総会(単独)

期日 : 平成26年3月27日(木) 9:00~17:00
8:45分まで集合

会場 : シェルコムせんだい(6面)

種目 : 女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法 : 参加者全体を4チームに分けて、女子、
男子、混合の各ダブルスペアーをつくり
種目毎の団体戦を行います。
尚、当日連盟の総会が開催されますので
多くの方々のご参加をお願いします。

参加費 : 500円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込:所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
(単独申込となります)

申込受付 : 2月27日~ 締切日:3月17日必着

対外部関係大会

対いわきVTC親善交流大会(単独)

期日 : 9月14日(土)~15日(日)

会場 : 平テニスコート

締切 : 7月28日(日)

いわき主催で開催されます。

第23回東北マスターズテニス福島大会(ペア)

期日 : 10月3日(木)~4日(金)

会場 : 郡山テニスコート

最近宮城県の参加者がやや少ないので
今年こそ沢山の参加者を募ります。
詳細決まり次第ご連絡差上げます。

県北交流会(単独)

期日 : 10月10日(木)

会場 : 松島運動公園テニスコート

締切 : 10月1日(火)

平成24年度行事实績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			24年度	23年度
4月23日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園	32	—
5月 3日(木)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	雨天中止	66
5月24日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	33	52
6月 7日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	51	50
7月 7日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園	雨天中止	66
7月17日(火)	Weekday 交歓会	南インター	37	27
8月20日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン	50	雨天中止
9月 1日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園	74	75
9月25日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園	41	50
10月23日(火)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	22	45
11月14日(水)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	48	47
12月 7日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園	34	37
12月 8日(土)	連盟祭り(団体戦)	シェルコム	75	85
1月16日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコム	60	58
2月13日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコム	53	63
3月11日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園	39	40
3月27日(水)	春季団体戦・総会	シェルコム	81	85

対外関係行事实績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			24年度	23年度
4月13日(木)	県南交流会	グリーンピア岩沼	45 (県南13,仙台32)	39 (県南25,仙台14)
4月28日(土)	県テニスマスターズ 春季大会	シェルコム	72	—
9月15日(土) 16日(日)	対いわきVTC親善大会	グリーンピア岩沼	いわき(21) みやぎ(36)	震災のため中止
9月20日(木)	県北交流会	松島運動公園	56 (県北20,仙台36)	震災のため中止
10月 2日(火) 3日(水)	東北マスターズテニス 岩手大会	盛岡市太田 スポーツセンター	男子8、女子5	男子6、女子9 (青森大会)
10月14日(日) 15日(月)	ねんりんピック 宮城・仙台大会	泉総合運動公園	県13、市11 (いきいき会員)	県5、市6 (いきいき会員)
11月24日(土)	県テニスマスターズ 秋季大会	七北田公園	50	64

平成24年度総会報告

副会長 奈良 征一郎

「シェルコムせんだい」で3月27日昼食時間を利用して約50分で開催しました。

総会参加者は84名・委任状提出者52名と多くの参加者で盛会でした。

和田会長の挨拶に始まり、各担当部長の説明で審議が行われ参加者の承認を頂きましたので報告いたします。詳細は〈会報#44号〉を熟読頂き、ご理解とご協力をお願いします。

会長挨拶では「平成24年度は2大会が雨天のため中止になりました」「役員交代を実施し、新役員5名を指名しました」「役員全員の協力で会員のため努力します」などの報告がされました。総会終了後「新春連盟祭り(団体戦)」の午後の部を続行し、予定通り楽しく終了で

平成24年度決算

平成25年度予算

みやぎいきいきテニス連盟規約

<総 則>

第1条 (名 称)

本会は、みやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員を以て構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。
但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

<会 計>

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活動費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。
但し、特別会員は、これを免除される。
年会費は、総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案並びに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示されていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

<役員・役員会・総会>

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重任は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員の互選によって会長1名を選出する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員の行う業務の監査を行う。任期は2年とし、再任または重任は妨げないが、原則として引き続いて3年を越えることは出来ない。

第12条 (役員会)

役員会は、役員会で定めた専門部会と事務局を以て構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画案、予算案、活動報告案及び決算案を審議する。

総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第14条 (事務局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。事務局は、会員の動向、連絡調整、会計等の任務を掌理する。
事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

<付 則>

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

第16条 本規約の改正は総会の議決による。

<細 則>

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮して、役員会において検討を行い善処する。

(平成 8年 3月26日改正)

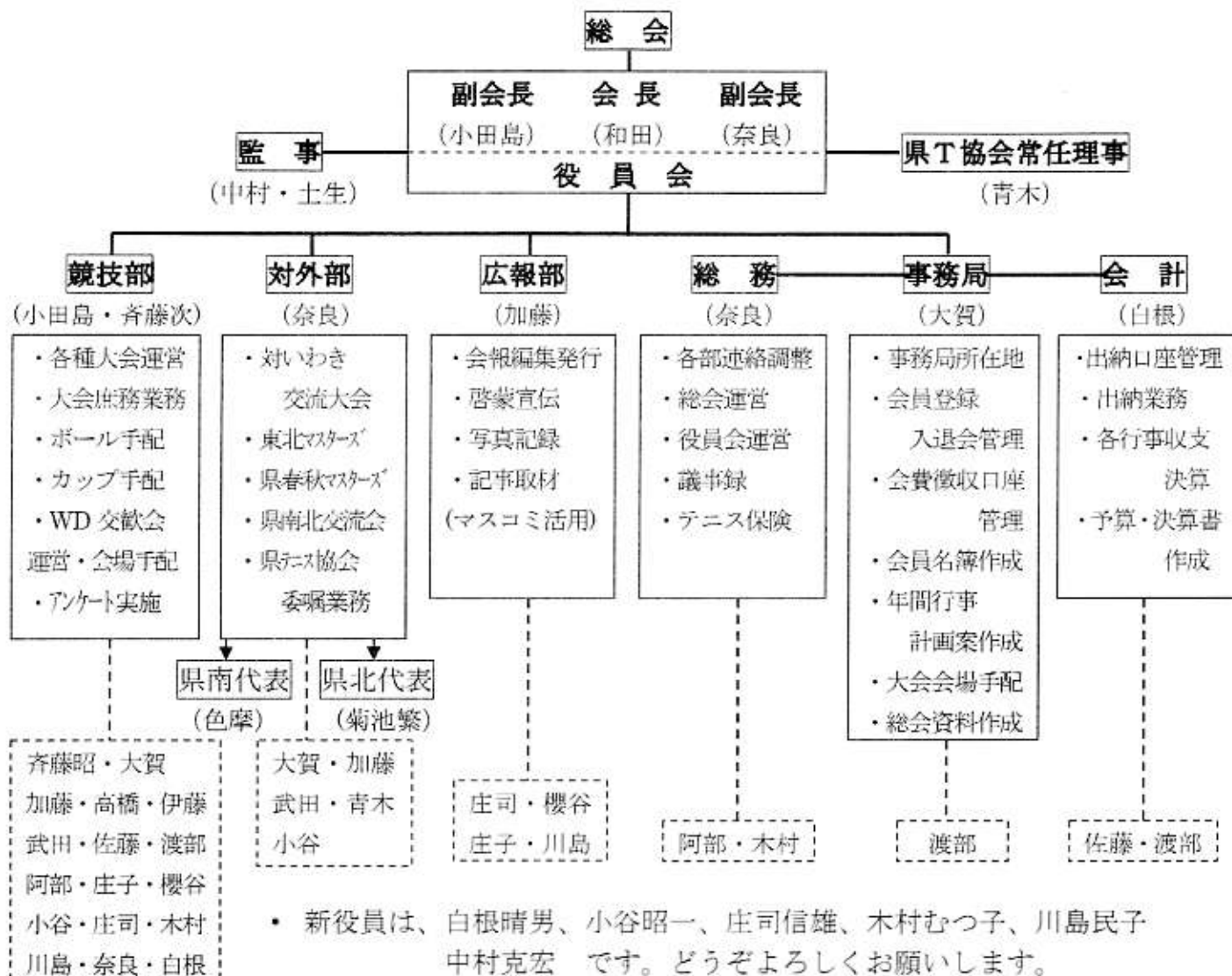
(平成 9年12月 6日改正)

(平成14年12月 7日改正)

(平成15年12月 6日改正)

(平成21年 1月 9日改正)

平成25年度みやぎいきいきテニス連盟組織体制



編集後記

あれから2年余り忘れようとしても、忘れられない大きな震災を体験し、何気ない日々の生活にも以前とは違う緊張感と共に過ごした一年でした。復興・復興との声は高らかに聞こえて来ましたが、日には全く見えず・・・もどかしさと不安を感じながらも、会員の皆様様がテニスを楽しむ時間を持ててくれる事は最大の喜びでもありました。

ここに44号をお届け出来、広報部一同ホットしている次第です。読みやすく練りに練った内容は一押しでもあります。発行迄に多大なるご尽力を賜りました皆様には心より感謝申し上げます。ひとつ残念な事は年度初めの目標でもありました、ホームページの開設が前期中に実行できませんでした。新年度には是非立ち上げて頂き、活動報告や大会案内、結果等リアルタイムでお知らせ出来たら、最高ですね・・・。次回の45号がお手元に届くまでこの44号をお傍に置いて頂き、盛り沢山の行事にご参加下さい・・・。今年も仲良く、明るく、楽しい、テニスライフを満喫しましょう。

(千葉 みちこ)

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会

印刷 (株)仙台紙工印刷

住所 〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-1-4

TEL 022-231-2245